

身体を練り、
心を耕し、
言葉を紡ぐ。

(大沢ノートから)





【詩の国あきたものがたり】

第1回 大沢 勉さん ～ことばの道しるべ～

「大沢野球の心得暦」展示記念

展示会スケジュール

秋田県信用組合 能代支店  5月25日～6月11日
秋田県信用組合 土崎支店  6月12日～7月3日

プロフィール



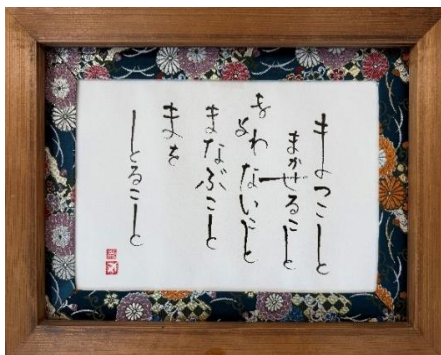
大沢 勉 (おおさわ つとむ) 氏
昭和23年生まれ。秋田県能代市ニツ井町出身。
合川中学校、能代高等学校野球部、日本鉱業日立鉱業所にて社会人野球で活躍。
昭和45年、プロ野球ドラフト会議にて東映フライヤーズ入団、日拓ホームフライヤーズ、日本ハムファイターズを経て、昭和51年に現役を引退した。
能代高校時代は捕手として、元プロ野球投手の山田久志氏とバッテリーを組む。
引退後は盛岡市で勤務し、その後秋田へ帰郷。秋田市にて少年野球チームの立ち上げに携わる。
平成20年、能代市にて硬式野球塾の塾長に就任。翌21年には少年硬式野球チーム「能代リトルシニア」監督に就任し、令和3年まで後進の育成に尽力した。
令和6年7月、76歳で逝去。

【大沢野球の七つの心得】

- ・ 素直であること
- ・ 好奇心旺盛であること
- ・ 忍耐強さがありあきらめないこと
- ・ 準備を怠らないこと
- ・ 几帳面である事
- ・ 気配りができること
- ・ 夢を持ち、目標を高く設定することができるとこと

直羊り

人の一生を「ま」から始まる五つの言葉に託した作品です。
待つ・任せる・迷わない・学ぶ・間をとる—
その五つの「ま」に、人生を歩む心の在り方と自然の理を重ねて表現しています。
この「五つのまこと」は、大沢 勉さんが新たなノートに丁寧に書き写していた言葉でもあります。
この「愛の心葉」の一葉より、ご縁をいただきました。



心葉 【五つのまこと】 (大沢氏 所蔵)

プロフィール

ことばの紡ぎ手
心葉 (しんよう)



秋田県在住。
割箸象書詩作家。
1994年、臨死体験をきっかけに、割箸を筆とした独自の書画表現をはじめ。
個展や講演活動、「愛の心葉」カレンダー、心の整え方の指導・実践にも取り組む。